



四條畷市議会議員

ながはた

# 長畑ひろのり News



発行：2008.05.01

vol.011

ご意見は次のeメールアドレスへ  
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp  
http://nagahata.jp

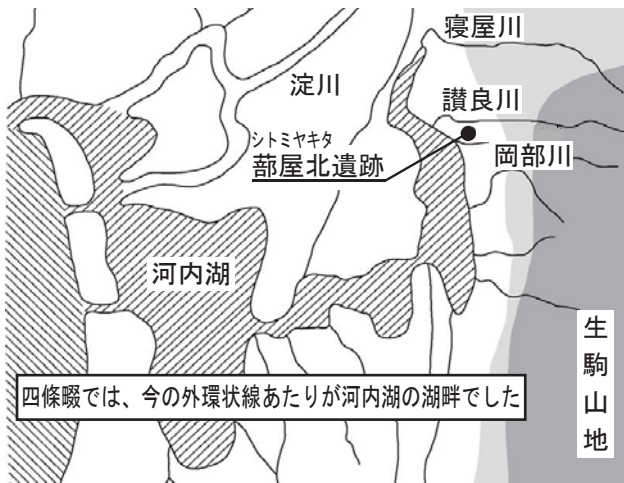
phone：072-878-3205  
fax：072-877-1194

## こんにちは、市政報告です！

今号は少し趣向を変えて、四條畷市の歴史から始めたいと思います。楠正行(クスノキマツラ)で有名な四條畷市ですが、他にも多くの重要な歴史があるのを知って頂きたいのです。また、市教委の問題も4月末時点の情報ですが報告します。

## 「河内の牧」のルーツ

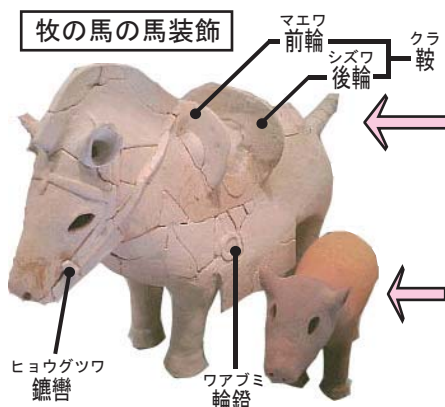
中国の史書「魏志倭人伝」(3世紀)には、こう記されています。《…倭国には牛、馬、虎、豹、羊などはいない…》それから約200年後に、朝鮮半島から船に乗って日本に馬がやってきました。それを伝える遺跡が、2001年度より本格調査された四條畷市の葦屋北遺跡です。現在は府の下水処理施設「なわて水みらいセンター」の下になります。



四條畷では、今の外環状線あたりが河内湖の湖畔でした

古墳時代の河内地方は、上図のように「河内湖」と呼ばれ海と繋がっていました。葦屋北遺跡は、その湖へ注ぐ讃良川と岡部川に囲まれたほとりに位置します。

同遺跡は、朝廷に馬を供給し日本書紀にも登場する河内馬飼いの牧場跡(河内の牧)にあたとされ、多くの出土品が発掘されました。



その中には、馬の骨や歯、全身の骨格(体高125cm・年齢8才くらい)もあり、また馬具である木製の鞍(クラ)や鉄製の轡(クツツ)、錠(アブミ)も見つかっています。

そして、外洋を航海できる準構造船の船底や舷側板をリサイクルして枠にした井戸(5世紀中頃や後半)も見つかっており、馬が船に乗ってこの地へ来たのは間違いのない事が裏づけされました。

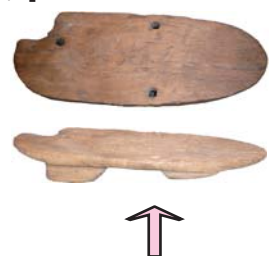


日本に馬が最初に到来したのは「四條畷市」



他にも馬に関する古墳時代の出土品が、四條畷市内にある多くの遺跡で発見されていますので、以下に紹介します。

- ・大上古墳群[現：163号線]&清滝古墳群&更良岡山古墳群 馬飼いの古墳～馬飼いとは、牧場で馬の世話をする人です。
  - ・奈良井遺跡[現：市民総合センター] 馬の祭り場～一辺が約40mの四角い形をした場所で、それを溝で囲んでいました。その祭り場からは7頭以上の馬が見つかり、一頭は板の上に寝かされていました。また、いけにえ用に首の部分で切りとられた馬の骨も見つかりました。
  - ・南山下遺跡[現：忍ヶ丘駅南高架下] 馬形埴輪～左写真左側埴輪で顔が大きく足の短いずんぐりとした蒙古系の馬です。
  - ・忍ヶ丘駅前遺跡 オスの仔馬形埴輪～左写真右側、小さい方の埴輪です。
- 馬以外では岡山南遺跡で、擦り減った《日本最古の下駄》も発見されました。桧材で歯が二脚ついており左足用です。



## 「2学期制（3月議会）」について！

2学期制については、3月議会での発言を控えようと当初は考えていました。私の一般質問は3月25日であったので次年度がすぐ目の前に来た段階での発言は、混乱をまねくと思ったからです。しかし、教育長の懲戒免職と言う教育界にとって最悪の事態が起こりましたので発言させて頂きました。

以下、私が議会で発言した「2学期制」の箇所についての質問と要望について、抜粋して記します。

・・・元教育長の強力な力の下で2学期制を推し進めてきたのは間違いありません。そこがかけた今、これから進める2学期制は、誰にも責任転嫁できなくなりました。しかも、今回の事件で保護者は不信感を抱きました。そこを解決する為にも、昨年何回も言いますように、拙速に進めることなく行って頂きたい。

確実に2011年から、新学習指導要領をこなすことになるのです。その新学習指導要領では授業時数が増え、今のカリキュラムでは対応が出来ないのは周知の事です。その時に日本全国の学校は大きく変わらなければならないのです。その選択肢として2学期制もあるでしょうし、土曜日の授業再開があるかも知れない。時間割や長期休暇を見直すことも必要です。そんな事は、日本中の教育関係者はみんなわかっているのです。だから、他市の教育委員会は、2011年に向けてどうするのか、そこに焦点を絞っているのです。

それを何故、今、行動を起こすのか理解できなかった。

しかし、理由は単純でした。元教育長の意味のわからない暴走でしかなかったのです。・・・〈中略〉・・・あまりにも子どもが置き去りにになっている。ここ数年の驟の教育を返して頂きたい、と元教育長に強く私は言いたい。

今後は新しい教育長の下で新しい考えで動くのでしょうかが誰が教育長になろうともこれだけは言いたい。まず2011年の新学習指導要領に焦点を合わせて、今後議論頂きたい。小学校の2学期制も、検証期間や保護者の理解が平成20年度一年かけても無理であったなら、実施を遅らせることも必要です。また、今後3学期制が良いと仮称2学期制検証委員会の検証結果がでたならば、それはそれで学期制を再検討して頂きたい。

そして、今後は仮称2学期制検証委員会を、私はしっかりと見ていきますので気合いを入れて取り組んで頂きたい。多くの市民の賛同を得られるような、そして子ども達にとって最高の学期制を、現場の声を中心に築いて頂くことを要望し学校教育部に関する質問及び要望は終わります。

## 「市教委を中心とした問題」について！

四條畷市教育委員会事務局社会教育部において、不適正な会計処理が行われていた事案について、4月末日現在ですが市議会に報告されている情報を記します。

「地域子ども教室推進事業」 不正額 6,346,721円  
他2事業 不正額 493,360円  
以上、3事業の合計6,840,081円が、府もしくは国への返金額となります。しかし、他2事業については事業自体が行われていなかった事実が明るみとなり493,360円が913,400円になる可能性があります。そうなりますと返金額は7,260,121円となりますが、以下の詳細については、市の発表金額で行います。  
それでは、6,840,081円の詳細です。

- ・補助対象外となる額（2,768,775円）  
内訳 支払い実績はあるが、委託事業の対象とならないもの
- ・目的外使用（1,521,272円）  
内訳 備品購入費 約90万円（パソコン関係・印刷機等）  
消耗品費 約10万円（再生紙・名札・折り紙等）  
教材費 約6万円（百人一首・その他道具等）  
印刷製本費 約12万円（冊子の印刷製本）  
その他 約34万円（体育館使用料・切手等）
- ・現金（571,493円）
- ・使途不明金（1,978,541円）

以上、全て市の発表額ですので、今後の調査内容によって大きく数字が変わるのは間違いないと思います。

今後は、市民に対し不適正な会計処理が行われた事実を踏まえ、早急に約200万円の使途不明金の内容を明らかにする必要があります。公金で使途がわからないなど、私も含め多くの市民は、いや、国庫（文部科学省）委託事業ですので国民は納得できないでしょう。4月号の広報四條畷において市長自ら「市民への信頼回復」を訴えていましたが、それを市民へ求めるならば、この点を避けることは絶対に出来ません。私は今後も早急の解明を求めて行動していきます。

## 「市政報告会」について！

下記の日程で市政報告会を行います。今回は3月議会の内容が中心ですが、議員として一年経過しましたので、一年間の総括も含め報告させて頂きます。参加お待ちしております。

長畑ひろのり市政報告会（所要時間90分を予定）  
日時：2008年5月24日（土）pm19:30～  
場所：市民総合センター 3階 視聴覚室